



—東地中海・北アフリカ地域ニュース—

エジプト：大統領選挙の決選投票の暫定開票結果等 (18日付アハラム紙ほか)

研究員 江崎 智絵

1. 大統領選挙の暫定開票結果

2012年6月16日及び17日、大統領選挙の決選投票が実施された。選挙管理委員会は、21日に今次大統領選挙結果の公式発表を行う予定である。

6月18日付アハラム紙が掲載した開票結果の第1報（対象は1万5,145票）によると、「ムスリム同胞団」が擁立しているムハンマド・ムルシー候補が8,733票を獲得し、軍出身でムバーラク政権の最後の首相であったアフマド・シャフィーク候補が6,412票を獲得した。得票率は、ムルシー候補が57%であるのに対し、シャフィーク候補が43%となっており、ムルシー候補が優勢となっている。無効票は321票であった。

また、6月18日未明、ムスリム同胞団は、各投票所の関係者が明らかにした開票結果に基づき、勝利宣言を行った。同胞団によれば、得票率はムルシー候補が51.8%、シャフィーク候補が48.1%とされた。

2. 国軍最高会議の動き

2012年6月15日、国軍最高会議（SCAF）は、14日に最高憲法裁判所が下した人民議会選挙結果に関する違憲判決を受け、同議会を解散させ建物を閉鎖すると共に、同議会が有する立法権を取り上げた。

6月17日、SCAFは、新大統領の権限が規定されるべき新憲法の制定目処がつかない中で、憲法宣言（暫定憲法）を発出した。その主要点は以下のとおりであるが、SCAFに広範な権限が付与される一方、大統領の権限は制限されるものとなっている。

- ・ SCAFは、2011年3月30日に発布された憲法の56条1項に基づき、新たな人民議会の選挙まで諸権限を掌握する。
- ・ 1週間以内に新憲法制定委員会を結成する。同委員会は、結成から3カ月以内に新憲法案を起草する。新憲法案は、起草から15日以内に国民投票にかけられる。
- ・ 人民議会選挙の実施は、新憲法の発布後となる。
- ・ SCAFは、軍隊に関するあらゆる問題についての決定権を有する。

6月17日、人民議会のカタートニ議長（ムスリム同胞団の公認政党「自由公正党」）は、SCAFのアナン副議長と会い、SCAFによる人民議会の解散を認めないとの立場を伝えた。